

# Global Labour Tax Summit

*Tax is everyone's business*

17-18 September 2015, Geneva, Switzerland

## PSI-FES 共催

税に関するグローバル労働サミット

詳細なプログラムと資料

2015年9月17日-18日

ILO ビル第5会議室

ジュネーブ、スイス



**FRIEDRICH  
EBERT**   
**STIFTUNG**

 **GLOBAL ALLIANCE  
FOR TAX JUSTICE**



## 実用的な情報

### 空港からホテルまでの行き方

到着フロアの荷物受取り場にある自動券売機で空港からの公共交通の無料チケットをもらえます。ジュネーブ国際空港が提供するこの **Unireso** チケットは、ジュネーブの公共交通機関であるバス、路面電車あるいは電車を **80 分間**利用することができます。



ベストウェスタン・ストラズブル・ホテルとホテル・スイスに滞在する参加者は、

空港駅まで進んでジュネーブの中央駅 **Gare Cornavin**（ギャー・コルナヴァン）を通る電車（ローザンヌ、ベルン、チューリッヒ行きのどの電車でも可）に乗ってください。ガレ・コルナヴァン駅で下車してください（乗車時間は約 10 分）。駅舎を出て南方向に向かうと、駅の反対側の最前列の家並みの背後にストラズブルグ・ホテルがあります。ホテルのウェブサイトで、正確な位置をチェックしてください [http://www.bestwestern-strasbourg.ch/index\\_en.htm](http://www.bestwestern-strasbourg.ch/index_en.htm) and <http://www.hotel-suisse.ch/fr/>。グーグル・マップも役立つかもしれません <https://goo.gl/maps/hgrJw>。

ホテルで "[Geneva Transport Card](#)"（ジュネーブ乗車カード）を渡されますが、これはジュネーブ滞在中ならびに出国当日の空港までのジュネーブの公共交通機関を無料で利用できるものです。

Best Western Hôtel Strasbourg  
Rue Pradier 10  
1201 Geneva  
Tel.: +41 22 906 58 00  
Email: [info@hotelstrasbourg.ch](mailto:info@hotelstrasbourg.ch)  
Website: <http://www.hotelstrasbourg.ch/en/>  
Map: <https://goo.gl/maps/hgrJw>

Hôtel Suisse  
Place de Cornavin 10  
1201 Geneva  
Tel: +41 22 732 66 30  
Email: [reservation@hotel-suisse.ch](mailto:reservation@hotel-suisse.ch)  
Website: <http://www.hotel-suisse.ch>  
Map: <https://goo.gl/0HxYcF>



## 実用的な情報

### 会議場への行き方

PSI-FES 共催の税に関するグローバル労働サミットは、国際労働機関で開催されます。:

International Labour Organisation (ILO)  
4 route des Morillons  
CH-1211 Geneva 22, Switzerland

ベストウェスタン・ストラスブルグとスイス・ホテルからは、電車のコルナヴァン駅からバス 8 (OMS 行) またはバス F (Gex-Aiglette または Ferney-Voltaire 行) に乗車して、BIT (ILO の仏語名) で下車して下さい。

地下駐車場を経由して ILO のメインビルに入ってください。セキュリティを通過するには写真付きの身分証明書を示し、ILO のバッジを受け取る必要があります。あなたの身分証明書は建物を退出する時に返却されます。表示に従って、9月17日の午前8時に開始するサミット会議の会場である第5会議室に行ってください。

### 電気

スイスでは 240 ボルト 10 アンペア、J 型プラグ (丸ピン 2 本とアース用ピン一本) を使っています。

自国の電気器具を使用するには、アダプターを持参することをご検討ください。



### ジュネーブに関する一般的情報

- 公共交通機関: [www.tpg.ch](http://www.tpg.ch)
- 天気予報: [www.meteocentrale.ch](http://www.meteocentrale.ch)
- ジュネーブ空港: [www.gva.ch](http://www.gva.ch)
- ジュネーブについて: [www.geneve-tourisme.ch](http://www.geneve-tourisme.ch)

### 重要: 写真とビデオ

PSI のウェブサイトと今後の出版物に掲載するために会合での発言者を撮影することに留意して下さい。映像や写真を撮られたくない方は、PSI のコミュニケーションチーム [communications@world-psi.org](mailto:communications@world-psi.org) に連絡する、そして/あるいは登録時に PSI スタッフにお知らせください。





9月6日(水曜日)

19:00 – 23:00

ゲスト・スピーカーを交えた夕食会-「税金を魅力的にする」

会場：レストラン“Nomades” – 18 rue des Grottes, Geneva

フリードリッヒ・エーベルト財団は、FESとPSIによる夕食会に皆さんをご招待いたします。

ゲスト・スピーカーであるジョージ・ターナー (Finance Uncovered のディレクター) が「どのようにして税を魅力的にするか」の問いに答え、サイモン・パワーズ (ガーディアン紙経済記者) が応じます。

### ジョージ・ターナー、ジャーナリスト、Finance Uncovered のディレクター



ジョージ・ターナーは、「税の公正ネットワーク」が創設し、税の公正に関心のある世界中の120名以上のジャーナリストと活動家が参加している共同ジャーナリズムプロジェクト「Finance Uncovered」の調査ディレクター。以前にターナー氏は英国の自由民主党の当時副党首であったサイモン・ヒュー議員のウェストミンスター・オフィスの所長を務めた。水産業の財政構造、英国のサッカークラブによるオフショアファイナンスの利用、およびEUのアフリカへの開発資金が租税回避地を経由していることなどに関する著作がある。2014年から2015年にかけて、セントラル・ロンドン地区における16億英ポンドを越える再開発をめぐる、シェル社、英国政府、ロンドン市長および不動産開発業者キャナリー・ウォーフ・グループを相手取って単独で法律キャンペーンを行った。

### サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の経済記者



サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の上級経済記者。彼の専門はガーディアン紙経済部の調査報道。国際調査報道ジャーナリスト連合 (ICIJ) を通じてルクセンブルグ課税密約文書の暴露を手伝ったチームの英国人メンバーであった。OECDのBEPSプロジェクト、税務裁定に対する欧州委員会の国家援助による調査、および様々な税務監査と訴訟に関して多数の記事を書いている。アップル、グーグル、スターバックス、アマゾン、シャイアー、ICAP およびマイクロソフトなどの多国籍企業の税金対策について書いており、ジャージー島、ガーンジー島、マン諸島、サーク島、オルダニー島およびブレッシュ島などの英国の租税回避地についても多くの報道をしている。重大な詐欺事件や訴訟事件、会計処理の問題、企業統治や気候変動についても執筆している。

# Global Labour Tax Summit

## Tax is everyone's business

17-18 September 2015, Geneva, Switzerland



FRIEDRICH  
EBERT  
STIFTUNG

GLOBAL ALLIANCE  
FOR TAX JUSTICE

### 第1日 9月17日 (木曜日)

8:00 – 8:30

#### 登録

ILOのカフェでコーヒーと朝食をとることができます。

8:30 – 9:00

#### 歓迎と開会あいさつ

#### ローザ・パヴァネリ、国際公務労連 (PSI) 書記長



ローザ・パヴァネリは、グローバルな労組連合組織である国際公務労連 (PSI)の書記長。国連の水と災害に関するハイレベル専門家・リーダー・パネルのメンバーであり、コーネル大学国際労働関係研究所諮問会議のメンバーでもある。パヴァネリ氏は、2002年にイタリア公務職員総連合 ((FP-CGIL)の全国書記局に選出され、2005年から2012年まで欧州・国際局長を務めた。それ以前には、自治体・保健部門を担当し、FP-CGILのロンバルディ地域書記長であった。彼女は2009年から欧州公務労連(EPSU)の副会長、2011年から欧州地域選出の PSI 副会長を務めた。彼女の労働組合活動歴は、ブレスシアで労働省在職中の1978年にスタートした。

#### フバート・シリンガー、FES ジュネーブ事務所長



フバート・ルネ・シリンガーはFESジュネーブ事務所長。1980年にFESに入ってから、FESの本部及び海外で様々なポストを歴任し、セネガルでのプロジェクト・リーダーや、モロッコ、南アフリカおよびナミビアのFES事務所長を務めた。2009年半ばから2014年半ばまで、グローバル化に関するFES対話プログラムをコーディネートした。ドイツのコンスタンツ大学で経済修士号を取得し、ベルリンの工業大学で農村開発上級訓練センター(SLE)を卒業している。

#### ダニエル・ベルトーサ、PSIの政策・統治担当ディレクター



#### 会議招集者

ダニエル・ベルトーサについての詳細は p.18 を参照されたい。

#### 一般資料

- 租税回避地と多国籍企業への課税、マルカス・ヘン, FES\* <http://ow.ly/RVuy8>
- アフリカの税事情、公共サービス国際研究所(PSIRU)\* <http://ow.ly/RVziN>
- アジア太平洋の税事情、公共サービス国際研究所, (PSIRU)\* <http://ow.ly/RVzy6>
- ラテンアメリカの税事情、公共サービス国際研究所(PSIRU)\* <http://ow.ly/RVAQI>
- 中東・北アフリカ(MENA)税事情、公共サービス国際研究所(PSIRU)\* <http://ow.ly/RVCzV>

\*会合の場で印刷された資料を入手できます。

# Global Labour Tax Summit

## Tax is everyone's business

17-18 September 2015, Geneva, Switzerland





第1日 9月17日 (木曜日)

9:00 – 10:45

### パネルセッション 1: 税はみんなの問題



全般的福祉に対する公的資金の役割、現行制度が労働者に及ぼす影響、開発、公共サービスと民営化、環境および不平等。

議長役: サイモン・バローズ、ガーディアン紙の経済記者

## 税と開発

### ジョエル・オディジー、ITUC アフリカ地域組織の人権・労働組合権担当コーディネーター



アクハトール・ジョエル・オディジーは、活動家で労働組合員。ナイジェリア人で、2010年以降、国際労働組合総連合アフリカ地域組織(ITUC-Africa)で人権及び労働組合権担当のコーディネーターとして働いてきた。彼は、2003年から2010年までナイジェリア労組会議(NLC)で働き、国際局長を経て退任した。オディジー氏はベルリン経済・法科大学で労働とグローバル化で修士号を取得した。彼は汎アフリカ主義者で、「苦しみを拒み、変化を求めて組織化し、動員し続けなければならない」ことが課題であると確信する人道主義者である。

## 格差を是正—税と不平

### スザンナ・ルイス・ロドリゲス、オックスファム・インターナショナル下の Oxfam スペインによる公正な財政を求めるキャンペーンの責任者



スザンナ・ルイス・ロドリゲスは、Oxfam スペインによる公正な財政を求めるキャンペーンの責任者であり、Oxfam インターナショナルでは財政の公正性の問題に関する政策リーダー。2012年と2013年にペルーをベースにして、ラテンアメリカでの Oxfam の公正な財政を求める活動を立ち上げるために中心的役割を担った。ロドリゲス氏は、財政の公正性と法人税に関する報告書や章を執筆しており、この課題に関して定期的にブログを書いている。インターナショナル・ビジネスを卒業し、数年間中国でビジネス開発と国際コンサルタント業の仕事をしていた。

## 税と労働者の権利- 製造業分野での事例研究

### カリム・バングウラ、公認会計士で SNYDEX の共同経営者



カリム・バングウラは、職員代表に焦点を合わせる会計士の専門団体である SNYDEX を共同経営する公認会計士。彼は、社会経済と連帯を専門にする会計事務所 AUDISOL の監査人かつ共同設立者である。



## 質の高い公共サービスの財源

### ローザ・パヴァネリ、国際公務労連（PSI）書記長



ローザ・パヴァネリは、グローバルな労組連合組織である国際公務労連(PSI)の書記長。国連の水と災害に関するハイレベル専門家・リーダー・パネルのメンバーであり、コーネル大学国際労働関係研究所諮問会議のメンバーでもある。パヴァネリ氏は、2002年にイタリア公務職員総連合（(FP-CGIL)の全国書記局に選出され、2005年から2012年まで欧州・国際局長を務めた。それ以前には、自治体・保健部門を担当し、FP-CGILのロンバルディ地域書記長であった。彼女は2009年から欧州公務労連(EPSU)の副会長、2011年から欧州地域選出のPSI副会長を務めた。彼女の労働組合活動歴は、ブレスシアで労働省在職中の1978年にスタートした。

10:45 – 11:15 休憩

### パネルセッション1 – 資料

- 税と開発、ババ・アイ 「Fair tax and quality public services delivery in Africa, Baba Aye, Nigeria」 \*  
<http://ow.ly/RYwbT>
- 格差の是正, OXFAM: <http://ow.ly/RVEFH>
- 公共支出はなぜ必要なのか, PSIRU\*: <http://ow.ly/RVTdP>
- TUAC report on the joint ITUC-TUAC expert meeting on Corporate Tax Planning\*: <http://ow.ly/RYbpg>
- G20 : Public health care more efficient than private - but needs funds\*: <http://ow.ly/RYhJe>
- PSI urges G20 to fix tax system to fund Ebola crisis\*: <http://ow.ly/RYhBJ>

\*会場の場で印刷された資料を入手できます。

# Global Labour Tax Summit

## Tax is everyone's business

17-18 September 2015, Geneva, Switzerland



### DAY 1 - THURSDAY 17 SEPTEMBER

#### 11:15 – 12:45 パネルセッション 2: 税と企業のパワー



企業による税逃れはいくらにのぼるか、どのような方法で税を逃れるのか、彼らに手を貸しているのはだれか、どのようにして税逃れを止めさせられるか、なぜそれについての情報があまり入ってこないのか？」

司会：ナディア・サルソン、欧州公務労連（EPSU）の税と行政の政策オフィサー

#### いくら、誰が、どのように？

#### ジョン・クリステンセン、税の公正ネットワークの執行ディレクター



ジョン・クリステンセンは税の公正ネットワークの国際活動を指揮している。会計監査と経済学の両方を学び、これまでオフショア金融とタックスヘイブンの調査活動にキャリアの大半を過ごしてきた。最新の著書「最大の発明：税と公正な社会を求めるキャンペーン」が 2015 年 9 月 24 日に発行される。

#### 組合の視点からみた企業の事例研究-シェブロン社とオーストラリア上院による税に関する査問

#### ジェイソン・ウォード、国際運輸労連 (ITF) のグローバル戦略担当上級職員



ジェイソン・ウォードは、1998 年以来多くの部門で様々な組合のために調査とキャンペーンを行ってきた。彼は 7 年半にわたって、米国の SEIU と UNITE HERE で活動した。ITF に入る前にオーストラリアの United Voice に 2 年半に在職した。その間に「税の公正ネットワーク」と協力して、オーストラリア最大手上場企業の税務慣行に関する報告書を出版した。この報告書によって、上院による法人税回避に関する査問が行なわれることになり、オーストラリアで企業による税の回避が政治やメディアで大きく取り上げられるようになった。ジェイソン・ウォードは現在、シドニーの ITF 事務所を拠点にして活動しており、シェブロン社の税の陰謀を暴露することに焦点を合わせている。



## 多国籍企業が引き起こす問題と、彼らのサービス提供者及びロビイスト

### クリシェン・メータ, プライスウォーターハウス・コーパースの元共同経営者,



クリシェン・メータは、米国エール大学の上級研究員としてグローバルな正義について研究。税の公正性に注目する以前は、プライスウォーターハウス・コーパース (PwC) の共同経営者として、ニューヨーク、ロンドンおよび東京のオフィスに勤務した。彼の任務には、日本、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、中国及びインドネシアにおける米国 PwC の税業務も含まれており、アジアで事業を行っている米国企業 140 社以上をカバーしていた。メータ氏は現在、税の公正ネットワークの上級顧問である。アスペン研究所のビジネスと社会プログラムの諮問委員会に所属し、Human Rights Watch のアジア諮問委員会のメンバーでもある。またデンバー大学のコーベル国際研究学部 の理事でもある。クリシェン・メータはアメリカン大学の非常勤講師、ボストンのタフツ大学や日本の東京大学、米国のコロンビア大学でしばしば講演を行った。2010 年から 2012 年まで Global Financial Integrity (GFI) の諮問委員会の共同議長を務めた。

### パネルセッション 2 資料

- 移転価格操作に関する TUAC の文書\* <http://ow.ly/RZpn5>
- ロビイストに関する新聞記事「Lobbyists for the havens: ICIJ's guide to the offshore system's defenders」\* <http://ow.ly/RXYwx>
- 開発途上国における企業の納税回避「UNCTAD study on the size of corporate tax avoidance in developing countries」 <http://ow.ly/RVG9p>
- 移転価格操作に関するラジオインタビュー G20 <http://www.world-psi.org/en/audio-radio-interview-daniel-bertossa>

\*会合の場で印刷された資料を入手できます。

12:45 – 14:15 昼食



## 第 1 日 - 9 月 17 日 (木曜日)

14:15 – 15:45

**パネルセッション 3: 誰がルールを作るのか、誰が彼らに影響を及ぼすのか、そして誰が得をするのか?**



**OECD、各国政府、実業界、メディア、右翼的シンクタンク、国連、持続可能な開発目標 (SDG's) およびグローバル金融機関**

司会・講演者: **ジョン・クリステンセン**、税の公正ネットワークの執行ディレクター。ジョン・クリステンセンはまた「税の統治に関するグローバル構造とその担い手」について簡単に説明する。

### 私たちは十分に対応しているか?

#### ラファエル・ルツォ、OECD の税政策・管理センターの BEPS プロジェクトの代表



ラファエル・ルツォは OECD の税政策・管理センター (パリ) のシニアマネージメントチームのメンバーで、現在、税源浸蝕と利益移転 (BEPS) の活動を担当している。以前には、OECD の税政策・管理センターでノンコンプライアンス部門の責任者として、攻撃的な税金対策と税犯罪を担当していた。その前には、OECD のモデル税条約と移転価格ガイドラインに関して、また彼が税問題の管理面での相互援助に関する多国間条約の議定書を起草した時に情報交換の問題も担当した。OECDに入る前には、IBFD 国際税アカデミー(アムステルダム)のシニアアソシエイトで、NCTM 法律事務所 (ミラノ) 所属の税務弁護士であった。フェデリコ II 大学 (イタリアのナポリ) で法律の学位を取得し、オランダのライデン大学で国際税務の法学修士号を取得した。彼は国際的な税問題に関する数本の論文を書いており、恒久的施設への利益の帰属: 同一企業内の内部取引への課税』(2005 年)、「国際的な税金対策の基本」(2007 年)および「判例法の 10 年-国際課税におけるライデン法学修士号 10 周年記念エッセイ集」(2008 年)などの編集者、共著者。

### 波及効果と金融部門への課税

#### マイケル・キーン、IMF 財務局次長



マイケル・キーンは、国際通貨基金の財務局次長で、その前の役職は税政策・税制調整部長。IMF に入る前には、エセックス大学の経済学教授で、京都大学の客員教授も務めた。彼は広範な税政策問題に関する技術援助使節団の団長としてほぼ 30 か国を訪れており、世界銀行、欧州委員会及び民間部門の顧問を務めた。米国の全国税協会の理事や、「アメリカン経済ジャーナル: 経済政策、国際税及び公的融資」の編集委員会(彼は共同創設者)や、「公共経済学ジャーナル」、「経済学レビュー」等々の多くの刊行物の編集委員を務めてきた。

## 税討論における既得権益

### サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の経済記者



サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の上級経済記者。彼の専門はガーディアン紙経済部の調査報道。国際調査報道ジャーナリスト連合(ICIJ)を通じてルクセンブルグ課税密約文書の暴露を手伝ったチームの英国人メンバーであった。OECDのBEPSプロジェクト、税務裁定に対する欧州委員会の国家援助による調査、および様々な税務監査と訴訟に関して多数の記事を書いている。アップル、グーグル、スターバックス、アマゾン、シャイアー、ICAP およびマイクロソフトなどの多国籍企業の税金対策について書いており、ジャージー島、ガーンジー島、マン諸島、サーク島、オルダニー島およびブレッシュ島などの英国の租税回避地についても多くの報道をしている。重大な詐欺事件や訴訟事件、会計処理の問題、企業統治や気候変動についても執筆している。

### パネルセッション 3 – 資料

- G20 首脳: サンクトペテロスブルグ首脳宣言、税に関する付属文書: <http://ow.ly/RVH0S>
- OECD BEPS 行動計画: <http://ow.ly/RVHnV>
- Overall evaluation of the G20/OECD base erosion and profit shifting (BEPS) project \*: <http://ow.ly/RZrsa>
- IMF 文書 – Base Erosion, Profit Shifting and Developing Countries: <http://ow.ly/RVHwv>
- IMF 文書 – Taxing Financial Transactions: Issues and Evidence: <http://ow.ly/RVHG7>
- 税の公正ネットワーク – なぜグローバルな課税機関なのか?: <http://ow.ly/RVHY7>
- G20 の税の取り組みに関する PSI の声明\*: <http://ow.ly/RVld6>

\*会合の場で印刷された資料を入手できます

15:45 – 16:15 休憩





## 第 1 日 - 9 月 17 日(木曜日)

### 16:15 – 17:45 パネルセッション 4: 組合と代替的な対応 - 優先課題を特定する



代替的な政策オプションの特定、成功談、及び労働組組合の優先課題

司会： エリカ・デイル・スュー、ICRICT コンサルタント

### 代替策は何か？

#### マニュエル・F・モンテス、国際企業税制改革に関する独立委員会(ICRICT)



マニュエル F・モンテスは、ジュネーブのサウスセンターで金融と開発に関するシニアアドバイザーを務めている。以前は国連経済社会局 (UNDESA) の開発戦略の主任で、世界の経済・社会サーベイ (WESS) ]制作チームのリーダーだった。それまでの経歴は、国連の開発融資事務所で政策分析と開発の主任、税問題の国際協力に関する国連委員会の事務局長、UNDP 地域プログラムのコーディネーター、スリランカのコロンボにある地域センターをベースにするアジア太平洋貿易投資イニシャティブ、ニューヨークのフォード財団で国際経済政策のプログラム・オフィサー(1999年-2005年)、ホノルルの東西センターの上級研究員で経済学コーディネーター、(1989年-199年)、およびフィリピン大学で経済学准教授(1981年-1989年)など。

私たちは BEPS の成果への働きかけを行いながら、なおかつ自分たちの税の行方を指揮することができるか？

#### クリシェン・メータ、プライスウォーターハウス・コーパーズの元共同経営者



クリシェン・メータは、エール大学の上級研究員でグローバルな公正性について研究。詳細な経歴は 10 ページを参照されたい。

## ヨーロッパにとっての政策オプション

### ヤン・ウィレム, 欧州公務労連 (EPSU) の書記長



ヤン・ヴィレム・グードリアンは、2014年5月の第9回欧州公務労連 (EPSU) 大会で EPSU 書記長に選出された。彼は1989年にオランダの公務労連 Abvakabo-FNV からスタートして、1992年11月 EPSU に入り、1997年から2014年まで EPSU 書記次長を務めた。電力、ガス及び地方自治体部門において使用者との社会対話の道を切り開いた。労働組合代表と一緒に、欧州労使評議会での協約や、欧州のエネルギー・水分野の主要企業との多国籍企業協約を交渉した。そのなかには、GdfSuez 社での公平性と平等賃金の向上に関する画期的な取り決めも含まれる。彼は、南東欧のエネルギーコミュニティの社会的側面を積極的に促進し、とりわけ EU における水企業の民営化に反対して活発に運動してきた。彼は、欧州市民による人権としての水と衛生に関する初めての取り組みを提案し、190万人の署名を集めて成功させた。このイニシアティブの副議長を務めている。彼は ETUC 執行委員会のメンバーであり、PSI 執行委員会のメンバーでもある。

## 開発という視点からみた国の解決策

### アダマール・S. ミネイロ, ブラジル CUT



アダマール・S・ミネイロは、経済学者で、2003年5月以降 DIEESE CUT、ブラジル労働組合総連盟、および REBRIP (人民の融合のためのブラジル・ネットワーク、ブラジルの社会運動と NGO のネットワーク) で活動し、貿易交渉、BRICS、G20、およびメルコスール (南米南部共同市場) を監視してきた。2010年から2012年まで TUCA (米州労組総連合) の経済顧問、その後 CUT 国際局の経済顧問を務めた。ミネイロ氏は、ブラジルや国外で、経済政策、債務、開発及び貿易問題に関する論文を発表し、その中には1995年から2001年まで間のブラジル経済を評価した「O Desmonte da Nação em Dados」も含まれる。

17:45 – 18:00 まとめと閉会

## パネルセッション 4 – 資料

- ICRICT 宣言\*: <http://www.icriict.org/declaration/>
- 徴税職員に関する資料「Impact of austerity on the fight against tax fraud and avoidance (EPSU)」\*: <http://ow.ly/Ry2bX>
- Impact of austerity on tax collection (EPSU)\*: <http://ow.ly/Ry38h>
- OECD's BEPS のプロセス: 開発途上国の前進に向けた 10 の方法: <http://ow.ly/RWzCA>
- What an individual EU country can do unilaterally to counteract BEPS\*: <http://ow.ly/RyK6E>
- 税の公正ネットワーク - なぜグローバルな税機関が必要なのか?: <http://ow.ly/RWzsc>
- プレスリリース- PSI は新たなグローバル税機関を求める\*: <http://www.world-psi.org/en/psi-calls-new-global-tax-body>

\*会合の場で印刷された資料を入手できます。

18:00 – 19:00 飲み物と軽食

19:00 – 20:30

映画上映: 「私たちが支払う代償」 - ハロルド・クロックス監督

予告編を参照されたい: [www.thepricewepay.ca](http://www.thepricewepay.ca)

会場: ILO ジュネーブ、会議室第5会議室



## 第2日 - 9月18日(金曜日)

9:00 - 9:20 2日目開始の挨拶と前日の要約

座長- ダニエル・ベルトーサ

9:20 - 11:00 パネルセッション 5: 組合と選択可能な対応策- 力を構築する



税について討議する、代替策を強調する、私たちの仲間は誰で、彼らは何を行っているのか、自分たちの体験談を語る、変化への希望を築く

司会: ダニエル・ベルトーサ、PSI 政策・統治担当ディレクター

### 不正の規模を暴露する

ジョージ・ターナー、ジャーナリストで Finance Uncovered のディレクター



ジョージ・ターナーは、「税の公正ネットワーク」が創設し、税の公正に関心のある世界中の 120 名以上のジャーナリストと活動家が参加している共同ジャーナリズムプロジェクト「Finance Uncovered」の調査ディレクター。以前にターナー氏は英国の自由民主党の当時副党首であったサイモン・ヒュー議員のウェストミンスター・オフィスの所長を務めた。水産業の財政構造、英国のサッカークラブによるオフショアファイナンスの利用、および EU のアフリカへの開発資金が租税回避地を経由していることなどに関する著作がある。2014 年から 2015 年にかけて、セントラル・ロンドン地区における 16 億英ポンドを越える再開発をめぐって、シェル社、英国政府、ロンドン市長および不動産開発業者キャナリー・ウォーフ・グループを相手取って単独で法律キャンペーンを行った。

### マクドナルドに対するキャンペーン- 組合のキャンペーンと戦略

カール・ライノネン、SEIU のグローバル組織化担当現地ディレクター



カール・ライノネンは SEIU のグローバル組織化担当現地ディレクター。SEIU と SEIU の国際的な提携相手のためにグローバルな組織化戦略を立て、コーディネートしている。ライノネン氏は南極大陸以外のすべての大陸での組織化キャンペーンにかかわってきた。経済専門家としての教育を受け、マサチューセッツ大学での教職を経て、オーガナイザーとしてまず全米教員労組で、1989 年以降 SEIU で活動している。





## 市民社会の行動

### アドリアーノ・カンポリーナ、ActionAid の CEO



アドリアーノ・カンポリーナは、国際開発機関 ActionAid International の最高責任者である。ActionAid は、貧困と不公正をなくすために世界中の 45 か国で 1500 万人を超える人々と活動している。ブラジルの ActionAid の執行ディレクターとして、カンポリーナは国内ベースの貧困撲滅機関であったものを国内外からの支援を駆り集める機関へと再編した。2004 年から 2011 年までの間に、カンポリーナは米州レベルの ActionAid の国際局長を務めた。この間に、ハイチ地震への ActionAid の対応を指揮した。2002 年から 2003 年まで、農民の権利を促進するため、そして世界貿易機関での貿易交渉で食糧安全保障を促進するための ActionAid の国際キャンペーンとアドヴォカシー活動を指揮した。

## パネルセッション 5 – 資料

- ゴールデン・ドッジス・レポート\* および PSI プレスリリース、ゴールデン・ドッジス\* : <http://ow.ly/RVJMQ>
- ラジオレーバー・インタビュー、ゴールデン・ドッジス: <http://www.radiolabour.net/bertossa-170315.html>
- 不幸せな食事\*: <http://www.world-psi.org/en/report-unhappy-meal>
- オーストラリアの組合 (NSW Nurses and Midwives) : 「Support tax justice & bring the Robin Hood Tax to Australia」\* : <http://ow.ly/RY4av>
- ASX 200 税レポート: 誰が公益のために支払うのか: <http://ow.ly/RVMKA>
- 税の公正のアドヴォカシー: :市民社会用のツールキット: <http://ow.ly/RVMSH>

\*会合の場で印刷された資料を入手できます。

11:00 – 11:30 休憩



## 第 2 日 - 9 月 18 日(金曜日)

### 11:30 – 13:00 パネルセッション 6: 機会を見つける



討論はどこに向かうのか、どのようにして政策に影響を及ぼすことができるのか、なぜ労働者は重要なのか?

**進行役・講演者:** トウブ・ライディングは、税の公平を求めるグローバル連合(GATJ)の政策・キャンペーン・グループのコーディネーター、およびユーロダッド(債務と開発に関するヨーロッパ・ネットワーク)の税問題担当コーディネーター。トウブ・ライディングはヨーロッパにおける機会についても話す。

### G20 と OECD における労働者の機会

#### ルディ・ドゥリュウ、ITUC 副会長、ベルギーFGTB 会長



ルディ・ドゥリュウは現在ベルギー労働総同盟 FGTB-ABVV の会長。ITUC 副会長、ITUC 人権・労働組合権委員会の委員長、およびETUC執行委員会のメンバーでもある。2009 年から 2014 年まで ILO 理事を務め、現在はベルギー国立銀行の理事で、フランドル社会民主党事務局のメンバー。1995 年から 2006 年まで FGTB の全国書記長を務め、全国雇用局とクロスロード社会保障銀行で FGTB を代表した。経済と数学の高等学校教員としての教育を受け、リューヴェン大学でビジネスエンジニアリングの学位を取得。

### 開発途上世界における機会

#### デレヘ・アレメイフ、税の公正を求めるグローバル連合の議長



デレヘ・アレメイフは、税の公正も求めるグローバル連合の議長でアフリカの税の公正ネットワークの上級経済政策顧問。また Christian Aid の経済的公正問題の上級顧問でもあり、ブリキナファソ、タンザニア及びケニアでディレクターとして働く。アレメイフ氏には 2 冊の著書があり、開発政策、開発における国家の役割、統治、説明責任、違法な金融の流れ、税および開発についての章や論文を執筆すると同時に定期的にブログに載せている。開発分野での活動に入る前に、アレメイフ氏は 1987 年から 1998 年まで、開発学の修士号と経済博士号を取得したベルリンのフリー大学で講師を務めた。

## グローバルな機会

### エリカ・デイル・スュー、ICRICT のコンサルタント



エリカ・デイル・スューは 税と開発のコンサルタントで、現在国際企業税制改革に関する独立委員会(ICRICT)を運営する。国連開発プログラムで働いた経験があり、税問題での国際協力に関する国連専門家委員会のためにリサーチを行い、開発途上国間で税務の成功例を交換するプロジェクトを実施した。最近、国際課税・開発センターで国境を越えた企業課税のための単一の枠組みを分析するリサーチプログラムを完了した。彼女はニューヨーク大学法学部で税制を修学して卒業し、ニューヨークとニュージャージー州の弁護士協会のメンバーである。

13:00 – 14:30 昼食

### 14:30 – 16:00 セッション 7: 労働戦略を構築する

#### 次は何? 公開討論

- 活動をコーディネートする
- 戦略と戦術
- 能力を構築する
- 行動へのコミットメント

司会: ダニエル・ベルトーサ, PSI 政策・統治担当ディレクター

16:00 – 16:15 閉会





## 会議運営チーム

### 会議招集者:

#### ダニエル・ベルトーサ、PSIの政策・統治担当ディレクター



ダニエル・ベルトーサは、国際公務労連で政策と統治を担当するディレクター。以前、サウス・オーストラリア州政府の首相・内閣局で政策・戦略ディレクターで、公共部門のマネジメントと地方自治と企画立案、児童保護及び先住民問題についての政府顧問であった。英国、オーストラリア及びフランスで官民部門の労働組合で様々な役割を演じてきた、そして現在の仕事の焦点は国際貿易、税、公共部門および経済政策で、3つの大陸でしばしばメディアに登場している。国際企業税制改革に関する独立委員会(ICRICT)のの運営委員会の創設メンバーで、サービス貿易協定(TISA)に対するグローバルキャンペーングループの共同議長である。メルボルン大学の公共政策センターで修士号、アデレード大学で経済学の学位を取得。

連絡先: [Daniel.Bertossa@world-psi.org](mailto:Daniel.Bertossa@world-psi.org)

### 進行役と司会者

#### サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の経済記者



サイモン・パワーズ、ガーディアン紙の上級経済記者。彼の専門はガーディアン紙の経済部の調査報道。国際調査報道ジャーナリスト連合(ICIJ)を通じてルクセンブルグ課税密約文書の暴露を手伝ったチームの英国人メンバーであった。彼の詳しい経歴は P.4 を参照されたい。

#### ナージャ・サルソン、欧州公務労連 (EPSU)の税と国家行政の政策オフィサー



ナージャ・サルソンは、EPSU で税と国家行政を担当する政策オフィサーである。2003年から EPSU に勤務している。現在の任務には、中央政府、移住政策、税、矯正業務に関する EU の社会対話委員会で労働組合代表団の調整することも含まれる。社会人類学の学士号と欧州研究での修士号を取得している。

#### ジョン・クリステンセン、税の公正ネットワークの執行ディレクター



ジョン・クリステンセンは税の公正ネットワークの国際活動を指揮している。会計監査およびエコノミストの両方の教育を受けている彼の仕事の大半はオフショア金融とタックスヘイブンの調査活動であった。彼の最新の著書「最大の発明：税と公正な社会を求めるキャンペーン」が2015年9月24日に発行される。

## エリカ・デイル・スー, ICRICT コンサルタント



エリカ・デイル・スーは税と開発のコンサルタントで、現在国際企業税制改革に関する独立委員会(ICRICT)を運営する。国連開発プログラムで働いた経験があり、税問題での国際協力に関する国連専門家委員会のためにリサーチを行い、開発途上国間で政務の成功例を交換するプロジェクトを実施した。最近では、国際課税・開発センターで国境を越えた企業課税のための単一の枠組を分析する調査プログラムを完了した。彼女はニューヨーク大学法学部で税制を修学し、ニューヨークとニュージャージー州の弁護士協会のメンバーである。

## トウブ・ライディング: 税の公正を求めるグローバル連合 (GATJ) の政策・キャンペーン・グループのコーディネーター、Euro DAD の税担当コーディネーター



トウブ・マリア・ライディングは、欧州債務・開発ネットワーク(EURODAD)の政策・アドヴォカシー担当マネージャー。税の公正を求めるグローバル連合(GATJ)連絡協議会の欧州代表であり、そこでは政策・キャンペーン委員会のコーディネーターでもある。Eurodadでは、欧州の20か国以上にいるメンバーや提携相手の税関連政策姿勢やアドヴォカシーおよびキャンペーンの取り組みをコーディネートしている。OECDの税源浸蝕と利益移転(BEPS)のプロセス、国連の税委員会(UNTC)、国連開発資金会議(FfD)、および欧州議会、欧州理事会及び欧州委員会で現在行われている税関連のプロセスを監視し、インプットを行ってきた。途上国からの税関連の資本逃避における欧州の役割について、2014年に発行された「隠匿されている利益」などの数本のレポートを共同執筆している。Eurodadに入る前に、トウブはグリーンピース・インターナショナルで気候に関する政治コーディネーター、その前にはデンマークの団体「世界の森林」と「デンマーク92グループ」の議長を務めていた。この間に、彼女は国連の気候変動、リオ+20及び生物の多様性に関する条約に強力にかかわった。

## 会議に関する連絡先

### ヴェロニカ・トウバー – 多言語リエゾン職員

ヴェロニカ・トウバーは、税に関するグローバル労働サミットのロジスティックスと運営を担当。連絡先: [veronika.tober@world-psi.org](mailto:veronika.tober@world-psi.org)

## コミュニケーション

### ヘイゼル・リポール – コミュニケーション・コーディネーター



ヘイゼル・リポールは、税に関するグローバル労働サミットをめぐってのコミュニケーションの取りまとめ役。

連絡先: [Hazel.Ripoll@world-psi.org](mailto:Hazel.Ripoll@world-psi.org)



## 追加資料

---

国際公務労連 (PSI) - 公的資金の調達・税のページ: <http://www.world-psi.org/tax>

フリードリッヒ・エーベルト財団 (FES) – 出版物: <http://www.fes.de/GPol/en/publications.htm>

国際的な企業課税の改革に関する独立委員会 (ICRICT): <http://www.icrict.org/>

税の公正に関するグローバル連合 (GATJ): <http://www.globaltaxjustice.org/>

税の公正ネットワーク (TJN): <http://www.taxjustice.net/>

税の公正ネットワーク – アフリカ (TJN-Africa): <http://www.taxjusticeafrica.net/>

ラテンアメリカ・カリブ地域の公正な財政ネットワーク: <http://www.justiciafiscal.org/>

欧州の税の公正: <http://www.eurodad.org/>

税の公平を求めるアメリカ人: <http://www.americansfortaxfairness.org/>

公共サービス国際研究所 (PSIRU): [www.psiru.org](http://www.psiru.org)

欧州公務労連 (EPSU): [www.epsu.org](http://www.epsu.org)

SYNDEX - 労働者代表のための戦略的診断: <http://www.syndex.eu/>

United Voice Australian、ASX 200 研究: <http://www.unitedvoice.org.au/news/who-pays-our-common-wealth>

国際税の公正アカデミー: <http://www.taxjusticeacademy.net/>

フィアンス・アンカヴァード Finance Uncovered: <http://www.financeuncovered.org/>

グローバル・ファイナンス・インテグリティ: <http://www.gfintegrity.org/>

金融透明性連合: <http://financialtransparency.org/>

BEPS 監視グループ: <https://bepsmonitoringgroup.wordpress.com/>

OECD BEPS のページ: <http://www.oecd.org/ctp/beps.htm>

国連の税問題に関する国際協力専門家委員会: <http://www.un.org/esa/ffd/tax-committee/about-committee-tax-experts.html>

IMF リサーチのページ: <http://www.imf.org/external/research/index.aspx>

アクションエイドの税に関するページ: <http://www.actionaid.org/tax-power>

クリスチャンエイド – 市民社会用の税の公正ツールキット:

<http://www.christianaid.org.uk/images/completetaxadvocacytoolkit.pdf>

オックスファム – 税に関するページ: <https://www.oxfam.org/en/tags/taxation>

オックスファム--不平等と公共サービス: <https://www.oxfam.org/en/explore/issues/inequality-and-essential-services>